

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営				
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 7 C. あまりできていない 10 D. ほとんどできていない	・理念の共有は出来ていると思う。実行が不十分。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 5 C. あまりできていない 12 D. ほとんどできていない	・ある程度の地域交流は出来ている。災害時の避難など有事の際の地域との連携も検討したら良いと思う。 ・認知症チームケア会議をグループホームで実施している。事業所で完結している。 ・あまり地域との交流はできていない。 ・見守り隊の活動は地域交流の機会になっている。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 10 C. あまりできていない 6 D. ほとんどできていない 未記入 1	・「サービスに活かしている」とまでは言えない。 ・議事録の確認ができていない。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている 6 C. あまりできていない 8 D. ほとんどできていない 1 未記入 3	
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 15 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない	・身体拘束の定義がマニュアルにも定められており、スタッフも拘束しないケアに努めている。 ・家族の要望などで、本人都合ではない施錠(クレセント)がある。 ・防犯対策以外の施錠は極力しないように努めている・
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 14 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない	・研修会は定期的に行われている。 ・虐待防止研修を受講するなどして注意が払われている。 ・コミュニケーション手段の一つとして手話等の勉強も必要かもしれない。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 13 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない 1 未記入 2	・職員は、成年後見制度については特に学ぶ機会がない。3

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 13 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない 1 未記入 2	・ケアマネ等から十分な説明が行われている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている 2 B. ほぼできている 10 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない 3 未記入 3	・意見箱を設置し、匿名で投書が出来るようにしている。苦情内容の掲示も行っている。だが、グループホーム利用者間での認知度は低く、苦情まで上がらないケースもある。 ・行事で家族参加を呼び掛けているが、ほとんど参加がない。家族会の開催も良いと思う。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている 8 C. あまりできていない 5 D. ほとんどできていない 4 未記入 3	・話を聞いてくれる。前期、後期と面談の機会あり。6 ・職員が運営に関する意見や提案をする機会が少ない。2 ・ユニット会議、部署会議で意見を聴いている。2 ・管理者との面談が現場に活かされていない。2 上司に相談でき、職場環境など反映できることはしてもらっている。2
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 7 C. あまりできていない 6 D. ほとんどできていない 3 未記入 1	・上司はユニットに入っており、状況を把握していると思う。 ・代表者と話をする機会がないため現場を把握してもらえているか不明。上の方も現場の状況をみてほしい。2 ・給与水準は同業と比較しても安いと思うが、休みがとりやすく、研修機会もあるので働きやすい。やりがいや向上心を持てる。4 ・ハード面で十分でない。 ・人事考課の詳細をオープンにすることでやりがいが生まれるかも。 ・パート職員への人事考課の波及はない。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている 9 C. あまりできていない 7 D. ほとんどできていない 2	・上司が自分に合うと思われる研修を進めてくれる。 ・力を伸ばすための的確な研修参加に繋がっていない。 ・職員を育てる取り組みを行っていると思う。2 ・外部の研修に頼っている。内部研修やOJTの仕組みが十分でない。 ・プリセプターシップが機能していない。 ・研修には出してもらえる。全体への復命ができていない。 ・自分から興味のある研修を受けるようにしている。 ・現場で頑張ったことを上司にほめてもらえる。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている 8 C. あまりできていない 7 D. ほとんどできていない 2 未記入 1	・研修やグループホーム部会への参加、福祉用具の方に来てもらうなどの交流がある。2

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 11 C. あまりできていない 5 D. ほとんどできていない 1	・その人らしい生活が送れるよう、それぞれが支援している。 ・職員と利用者の言い合いが起きてしまうことがある。 ・あまりできていないが利用者と一緒にできることは取り組んでいる。2 ・介護される側の気持ちを考えた言動、年長者として敬う気持ちで接している。3 ・利用者と共に生活し、暮らしの手伝いをさせてもらっているつもりで仕事をしている。 ・日々のストレスが減るように関係作りを心掛けている。 ・関係性は気づかれていないと思う。2 ・職員間だけで私語がある。 ・利用者の方に相談したり、意見を聞いたりする機会が増やるとよい。
15	馴染みの人や場 との関係継続の 支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている 9 C. あまりできていない 9 D. ほとんどできていない	・利用者の方から出る人物名についてはご家族に確認し、職員の周知は行った。しかし、実際に会うなど実行には至らなかった。 ・外出の機会や面会が増えるように支援している。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている 8 C. あまりできていない 10 D. ほとんどできていない	・家族への聴き取りが十分ではない。 ・認知症利用者の意向の把握ができていない。3 ・職員の声掛けをマイナスに受け取る方への対応が難しい。 ・仕事の流れが出来ており、個別に対応することが難しい。都度希望を聴くこともできていない。2 ・利用者の希望に沿うように取り組んでいる。3 ・コミュニケーションが図れている。 ・カンファレンスが排泄などの対応策が中心になってしまう。その中で認知症チームケア会議は検討の場になっている。 ・利用者の力、能力、意欲を引き出す関わり方が難しい。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている 9 C. あまりできていない 9 D. ほとんどできていない	・家族への聴き取りが十分ではない。2 ・パート職員など毎回休日でユニット会議に参加できていない状況ある。あとで会議録を読む程度。 ・担当者会議などで本人不在の場合がある。家族、ケアマネのみで内容の周知も不十分 2 ・各ユニットにケアマネが配置されたことで担当者会議がスムーズになった。家族も一緒に意見を出し合っている。3 ・話し合ったことが反映されていないことがある。 ・チームケア会議で対策を実施しているが、良くなっている実感がまだない。 ・状態に変化があった場合の柔軟な対応が必要。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 12 C. あまりできていない 5 D. ほとんどできていない	・記録に残っていないことがある。口頭で伝えられていることがある。職員の記録量、内容にばらつきある。(気づきや工夫等の記録)4 ・ケアの実施内容が記録に残っていない。 ・パート職員が掃除洗濯などすることが暗黙の了解になっている。 ・小さな気づきも含め、記録にしっかり残せている。4 ・ユニット会議で共有している。計画の見直し、変更に繋がっている。2 ・みんなで話し合っ決めても、自分の思いで違うことをする職員がいて統一した実践になっていない。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 7 C. あまりできていない 9 D. ほとんどできていない 1	・施設の時間の流れが中心一人ひとりやることや過ごし方が確立すると良い ・都度、本人、家族に相談が出来ている。 ・チームで相談しながらできていると思う。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 8 C. あまりできていない 9 D. ほとんどできていない	・利用者の方々の地域での様子は聴き取り不足。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている 3 B. ほぼできている 11 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 未記入 2	・家族受診、往診、施設受診が状況に応じてできている。2
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 12 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 1 未記入 2	・病院と連携を取りながらの退院が出来ている。 ・病院との情報交換がうまくいっていない気がする。病院からの情報で正確なものも多い。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 14 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 1	・主治医や家族と連絡を取りながら支援できていると思う。看護職員だけでなく、訪問看護も必要に応じて入っていた。2
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている 7 C. あまりできていない 10 D. ほとんどできていない 1	・骨折の疑いがあるものは、看護が来るまで動かさないなど実際に起こった反省を看護中心に発信している。 応急手当や怪我の初期対応について研修が必要だと思う。2
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 11 C. あまりできていない 5 D. ほとんどできていない 1	・避難訓練、風水害時の地域との協力体制はできていない。 ・避難訓練に関しては十分な対応が出来ようになってきている。 ・避難訓練だけでは不十分だと感じる。部署ごとの防災についての話し合いを持った方が良い。

				・地震の時の対応、対策が分からないので不安。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている 2 B. ほぼできている 12 C. あまりできていない 4 D. ほとんどできていない	・誇りやプライバシーを損ねないように努めている。 6 ・更衣や排泄介助、排泄失敗時の声掛けは特に気を付けている。 ・言葉遣いに気を付けている。3 ・施設の都合で利用者が我慢していることもあると思う。一部、不適切な声掛けやがある。(口調が荒くなる、大声が出る)3 ・耳が遠い方には大きな声になりがち。工夫が必要。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごした いか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている 10 C. あまりできていない 6 D. ほとんどできていない 2	・ほぼ毎日、職員の都合を優先させている。4 ・利用者の気持ちを聴いて、意向や希望に沿えるように支援している。3 ・意思表示が困難な方には、レクやコミュニケーションをとる中で楽しみを見 つけられるように努めている。 ・入浴拒否あれば、時間をずらしたり、口腔ケアは無理強いしないようにし たりしている。 ・夕方の入浴希望に合わせて入浴を行った。 ・利用者の思いを全員は汲み取れていない。(希望が分からない人がいる) 聴き取りが不十分。5 ・介護が必要になり、諦める事が減るように支援したい。
28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 11 C. あまりできていない 5 D. ほとんどできていない 1	・職員主導で準備から進んでいる。片付けは声掛けが出来ている。 ・出来る範囲でやってもらっている。
29	栄養摂取や水分 確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 17 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食事、水分量、栄養状態の記録と共有は出来ている。
30	口腔内の清潔保 持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている 16 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない	・あまりできていない人もいる。 ・拒否の方の対応が難しい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている 13 C. あまりできていない 5 D. ほとんどできていない	・薬に頼らない便利予防の取り組みがあるとよい。 ・本人の状態に合わせた排泄方法や排泄用具を検討できている。2

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている 5 C. あまりできていない 12 D. ほとんどできていない 1	・希望の把握ができていない。職員都合に合わせて時間が決まっている。2 ・タ方の入浴希望の際に職員が少なくできないことがあった。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている 2 B. ほぼできている 14 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない	・眠リスクの活用が出来ている。 ・認知症チームケア会議で検討している。 ・日中動いて、夜ぐっすり眠れるように意識して活動してもらっている。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている 17 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない	・薬の変更や注意点について看護職員からの情報発信が出来ている。2
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている 12 C. あまりできていない 5 D. ほとんどできていない 未記入 1	・出来ること、出来そうなことは利用者自身でやってもらっている。(食事の盛り付け、皿洗い)7 ・個々に得意なことをしてもらっている。定着してきた。2 ・個別での支援、かわりが増えるとい。情報収集を進めていく必要がある。2 ・医療面の支援は十分ではない。 ・ドライブや調理など全体での活動は増えたが生活動作、個別支援は不足している。 ・家族に協力を仰ぎ、それぞれに合わせた外出が出来ている。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている 7 C. あまりできていない 10 D. ほとんどできていない 1	・見守り隊、買い物、ドライブ、花見など。家族による外出もある。2
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている 10 C. あまりできていない 8 D. ほとんどできていない	・預り金の活用、希望者は財布を個人で管理してもらうなどしている。 ・移動販売に顔を出して買い物を促している。 ・財布の紛失のリスクを家族に説明する必要がある。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている 3 B. ほぼできている 13 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない	・電話を掛けに行く方がおられる。毎月のお便りで利用者の方がメッセージをかけるように配慮している。 ・携帯電話やスマートフォンの制限なく使用して頂いている。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 15 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない	・利用者の方が自宅で使い慣れた家具などを持参して頂くよう働きかけているが、全員ではないので今後増えるとい。 ・玄関の整備、季節の飾りつけが出来ている。 ・ホールの環境の見直しを定期的に行っている。

Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている 12 C. あまりできていない 6 D. ほとんどできていない	・帰宅願望の方の意向確認が課題。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている 8 C. あまりできていない 10 D. ほとんどできていない	・入所前後での生活の落差が大きい
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている 2 B. ほぼできている 16 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人の意向と相反するときの対応が難しい。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている 10 C. あまりできていない 8 D. ほとんどできていない	・施設の流れが中心になっている。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 14 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない	・出来ている。 ・出来ている方もいる。全員ではない。2
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 12 C. あまりできていない 5 D. ほとんどできていない	・施設内で完結することに慣れてしまっている。積極的なイベント参加や外出がない。3 ・波根地域の行事への参加が出来ている。3
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている 14 C. あまりできていない 4 D. ほとんどできていない	・話し合いが不十分で出来ていない。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている 15 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている 3 C. あまりできていない 13 D. ほとんどできていない 2	・自発的な地域との交流はない。 ・コロナ禍で減った部分はある。増やしていきたい。

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている 15 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない	・地域の人が気軽に立ち寄れず場所になるとよい。運営会議の後、グループホームを見学してもらったのは良かったと思う。 ・安心の日々を送ることは出来ていると思う。
----	----	---	--	--